



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018.last
No.13

②ガバナーメッセージ

③最終ガバナー補佐会議報告&周年事業ロータリークラブ報告

④第5回地区戦略計画委員会・地区諮問委員会報告

⑤国際大会トロント大会報告

⑥⑦⑧ガバナー補佐報告及び退任の挨拶

⑨⑩⑪⑫委員会・小委員会委員長退任の挨拶

⑫米山記念奨学委員会「引継会」報告

⑬⑭新会員コーナー・訃報

⑮第23回日本青少年交換研究会・千葉会議

⑯地区幹事・副幹事 退任の挨拶

何事も
人々から欲しいと
望むことは
人々にも
その通りだよ
米山梅吉

Rotary



ご挨拶

国際ロータリー 第2620 地区

2017～2018 年度 ガバナー

松村 友吉 (焼津RC)



2017～2018年度のガバナーとして、一年間務めさせていただきました。

元来いい加減な人間で、ロータリー活動をそこそこやった程度の人間が大役を受けてしまい、3年前から柄にも無く真面目に一から勉強し直し、なんとか恰好をつけるまでにはなりました。ガバナーとして公式訪問させていただき、新任のクラブ会長・幹事のみなさまと懇談させていただきながら、内心ははらはらどきどきの連続でした。特に、日頃お邪魔する機会の少ない山梨エリアを訪問する際は、その地域の特性や経済状況を十分に把握し切らずに偉そうなコメントをした経験もあり、思い出すと本当に冷や汗ものです。しかし、流石にロータリアンの皆様は温かく、こんな私をガバナーとしてお迎えいただきました。また、同じ時期にそれぞれの組織のリーダーを務めたという大切なご縁をいただき、今では正に「どこで会ってもヤーと言おうよ」という間柄で、懐かしく昔を思い出し握手をする間柄になりました。

クラブの会長・幹事の皆さんにもそれぞれ特徴は有りましたが、何と言ってもクラブそのものに強烈なカラーがあり、地区内79クラブがそれぞれ長い歴史を紡いできた中で培った空気、習慣、考え方を大事にされながら、ロータリアンとして誇りを持って地域で活動されていることが良くわかりました。昨年度のRIテーマが「変化をもたらす」でしたから、伝統や習慣にとらわれないで、というお話をさせていただきましたが、クラブの個性やカラーはそうそう変わらないものでしょうし、そのクラブを

特徴付ける大事な要素ですから、単純に変化させていけばいいというものではありません。その地域の個性や会員メンバーの個性をむしろ大いに大事にしながら、その個性を伸ばして発展していただきたいと思います。

クラブの会長・幹事の皆様に対する感謝と同時に、地区のチームとして一緒にご苦労いただいたガバナー補佐や委員長の皆様には、本当にここから感謝申し上げます。未熟な私を側面から支えていただき、充実した2017～2018年度を形作っていただきました。特に11名のガバナー補佐の皆様には、分区再編の移行期に当たり例年に無く回数の多い会長幹事会をお開きいただき、物心両面のご苦労をお掛けしてしまいました。改めてお詫び申し上げます、また感謝申し上げます。私自身は勝手に同志として、これからも永いお付き合いをさせていただければ有り難いと思っております。

何はともあれ、一年間の地区運営につき温かいご指導ご支援いただきました、地区内すべての皆様に御礼申し上げます。皆様のこれからのご繁栄をこころよりお祈り申し上げます。

ありがとうございました！！



最終ガバナー補佐会議報告

国際ロータリー第2620地区 地区幹事 **倉嶋 伸康** (焼津RC)

各分区で開催されましたIMが5月27日山梨第3分区を最後にすべて終了しました。

1年の総括と各クラブの会員増強の進捗状況等を確認するため6月1日（金）静岡浮月楼にて最終ガバナー補佐会議が開催されました。

冒頭松村ガバナーより、スタート早々分区再編問題で苦労されました11名のガバナー補佐の皆様に対して感謝の言葉が述べられました。

今回の会議は

- ①各クラブの会員増強・維持の現況把握
 - ②RLIに関する確認 をテーマに開催されました
- 分区内各クラブの会員増強・維持の現況報告では6月末の会員数予測について各ガバナー補佐から報

告をいただきましたが大幅に会員を増強したクラブ、会員減少に悩むクラブ等の報告がありましたが、地区全体の会員数は期首会員を若干上回る会員数になるのではないかと思います。

RLIにつきましては、次年度星野年度からスタートすることになっておりますが、質疑応答では活発な意見交換が行われました。

各ガバナー補佐には、RLIに関する知識と次年度ガバナー補佐への協力をお願いしました。

会議の最後は、各ガバナー補佐から分区運営のご苦労につきましてそれぞれコメントを頂き会議を終了しました。ガバナー補佐の皆様1年間ありがとうございました。



北杜ロータリークラブ創立40周年式典開催

北杜ロータリークラブ 会長 **山形 博宣**

北杜ロータリークラブ40周年を迎えるにあたり記念式典を開催いたしました。ご多忙の中、御来賓の皆様、姉妹クラブ、榛南ロータリークラブの皆様、ロータリー関係各位の皆様のご臨席を賜り心よりお礼申し上げます。

北杜ロータリークラブは1978年韮崎ロータリークラブ様をスポンサークラブに、長坂ロータリークラブとして結成され活動をして参りました。各会員各位の惜しまない努力と皆様のご支援、ご指導により、ここ40年と言う輝かしい節目を迎える事が出来ました。この間、行政改革により、峡北地区8町村が合併し、2004年北杜市が誕生しました。市の

誕生に伴い翌年の2005年、北杜ロータリークラブに名称を改名し今日に至っております。

現在、私共クラブメンバーは少数で構成され、活動しておりますが、当初から青少年健全育成事業の3部門、中学新人野球・バレーボール大会、ジュニア駅伝大会、小学生によるジュニア新人ミニバスケットボール大会等を支援してきております。会員少数の為、活動に支障をきたすこともありますが、会員増強の活動しつつ、厳しい社会情勢と地域性も絡み困難な面もありますが勇往邁進し、クラブの強い基盤とロータリー事業の基礎とする奉仕の理念を奨励し、これを育み地域発展の為に会員共々努力して参りたいと思います。北杜ロータリークラブに対しまして、今まで以上に皆様方のご指導ご鞭撻をお願いし、挨拶とさせていただきます。



第5回地区戦略計画委員会、第6回地区諮問委員会報告

国際ロータリー第2620地区 地区幹事 **倉嶋伸康** (焼津RC)



6月16日(土)14時より静岡市の浮月楼にて第5回地区戦略計画委員会、15時30分より第6回地区諮問委員会が開催されました。

戦略計画委員会では、次年度から準備が始まりますRLIの今後の進め方、今後の地区事業の進め方、星野ガバナー年度の地区戦略計画委員会の進め方について意見交換が行われました。次年度の地区戦略計画委員会では、松村現ガバナー(次年度パストガバナー)が1年間議長を務めることが合意されました。

又、第6回地区諮問委員会では、前回の諮問委員会で承認されました萩原ガバナーノミニデグジネート、寺戸地区幹事予定者も参加し、松村ガバナー年度最後の地区諮問委員会となりました。

諮問委員会では、志田パストガバナーが議長席について審議が行われました。

諮問事項としては、米山梅吉記念館が次年度50周年を迎える事から、50周年事業支援について検討が行われました。50周年式典や会館の増築等にかかる費用の捻出について地区内3000名の会員の協力をお願いしたい旨の提案がありましたが、星野ガバナー年度に詳細を決めることとなりました。

最終諮問委員会のため、会議終了後簡単な懇親会を開催し、各パストガバナーから1年間の運営についてのコメントを頂き、恒例のガバナー、地区幹事へのバッチ引継ぎセレモニーをもって今年度の主な地区事業の締めとさせていただきます。

1年間ありがとうございました。



山梨第4分区インターシティミーティング報告

山梨第4分区ガバナー補佐 **渡辺 康一郎** (大月RC)

2018年5月19日(土)、大月ロータリークラブをホストクラブとして、山中湖村のホテルマウント富士に於いて山梨第4分区インターシティ・ミーティング(IM)を開催しました。

IMでは「ロータリー米山記念奨学会を学ぼう」というテーマを設定し、講師にRI第2ゾーン研修リーダーでありロータリー米山記念奨学会創立50周年記念委員会委員をお務めになった高野孫左エ門パストガバナー、米山親善大使であるキム・ボクハン氏、地区米山学会会長のラシタ・エリヤワ氏をお迎えし、米山記念奨学会の現状、成果、連携などのお話を頂きました。

二部では、大月市の大月吹奏楽団の演奏を聞いて頂きました。また、

IM懇親会の終わり恒例の「手につかないで」は、大月吹奏楽団の生演奏により全員で輪になり合唱しました。

最後に、IMに参加した富士吉田RC会員SさんがFacebookに寄せた感想を引用します。

『「奉仕」とは、他者への働きかけであるように見えて、実は自分との闘いであり、結果として心の豊かさが与えられるもの「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」見識を深める機会にもなり大変有意義な一日でした。』



第109回ロータリー国際大会「トロント大会」に参加して

地区筆頭副幹事・国際大会推進委員会 委員 岡村 延昌 (焼津RC)

第109回ロータリー国際大会が、6月23日から27日までカナダのトロントにおいて開催され、松村友吉ガバナーご夫婦とともに参加してきました。トロントは35年ぶり5回目の世界大会開催、今回は全世界から25,652名のロータリアンが登録し、日本からは2,000名以上のメンバーが参加したということでした。トロント・ピアソン国際空港で大会バッジを受けとるまでにかなりの時間がかかり、また申請したつもりが登録されていなかったことが判明したメンバーもいて、波乱含みのスタートとなりました。

あいにくの雨の中、24日の開会本会議は10:30と15:30の2回あり、私たちは10:30からの部に参加しました。会場となった「エアカナダセンター」は開式30分前ですでにアリーナ席は満席で、スタンド席に座り、近くのロータリアンに地区バッジをプレゼントしたり、名刺の交換をしたりして、新たな友情の輪を広げてきました。

イントロダクションは、大会に参加するスーツ姿の男性が、到着するまでに幾多のハプニングに出くわすというカナディアンジョーク(?)の映像で、会場のあちこちで笑い声が上がり、リラックスした雰囲気の中で開会しました。冒頭のフラッグパレードでは、世界の隅々までロータリーが存在していることに驚かされます。大会のテーマである「インスピレーション いたるところに」をいきなり実感しました。カナダとライズリー RI会長の出身国であるオーストラリアの国家斉唱の上方でエアリアルスの演出があり、さすがシルクドソレイユの国だと思いました。セレモニーの中で、2017年に急逝された当時のSam F.Owori RI会長エレクトの奥様とご子息の紹介がありました。また、イギリスのアン王女が登壇され、ロータリーのエンドポリオ活動に対する感謝の意を述べられました。今回の大会では、アン王女のほかにローラ・ブッシュ元米国大統領夫人やトルドーカナダ首相なども参加されました。余談ながら、「エアカナダセンター」は7月から「スコシアバンクセンター」に名称が変わるため、「エアカナダセンター」としては最後の大きなイベントです。

CNタワー横にあるメトロ・トロント・コンベンションセンターでは「友愛の家」が開かれ、グッズ販売やステージがあり、多くのロータリアンで賑わっていました。別部屋では

サッカーW杯が大画面に映し出されていて、対戦表(上映予定表?)が入り口に設置されていました。(ちなみに日本対セネガル戦は昼食時で、スマホでほぼオンタイムで経過を知ることができました)

地区ナイトには、志田・野口両バスターガバナー、星野エレクトをはじめ、38名が参加し、志田PDGの誕生日のお祝いとともに、家族に6月生まれの人がいるメンバーにもプレゼントを渡す演出を行い、楽しい時間となりました。

翌日はナイアガラ方面を観光し、カナダの雄大さとパワーを体感し、トロント国際大会に参加し、素晴らしい経験をしたと実感しております。(同時期にLGBTQのプライドパレードやジャズ大会も開催されており、さすが多様性の国・カナダでした。)



ガバナー補佐報告及び退任の挨拶



山梨第1分区ガバナー補佐

内藤 民部 (甲府RC)

松村ガバナーのご指導・ご薫陶の下、分区内8クラブの会長・幹事・会員の皆様のご支援・ご協力を賜り、また事務局の五味・丸茂会員にはお世話になり、心より感謝申し上げます。お陰様で一年間、何とか役目を務める事ができました。

クラブを各4回訪問させて頂き、温かい対応に触れ、多くの方々と親交を深めることができました事は、私の宝物になったと存じます。

各クラブの自主性・多様性に感じ入ると共に、それぞれの

歴史や伝統をベースにして工夫を凝らした運営や事業展開に取り組んでいることに感動致しました。

私の人生にとって忘れられない貴重な体験となりました。ありがとうございます。

IMでは多くの皆様のご参加を頂き、「山梨県の活性化―地域社会の進むべき方向性」の演題で藻谷浩介様にご講演頂きました。人口減少にどのように対処するのか、少子化を食い止めることは出来るのか等、鋭い指摘と人口動態から来る危機に対し示唆に富んだお話を拝聴させて頂きました。故郷の次なる活性化のヒントになれば幸いです。

次年度より、第1分区の8クラブは3つのグループに分かれますが、それぞれのグループにおいて各クラブの益々のご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。



山梨第2分区ガバナー補佐

小泉 久司 (甲府西RC)

「ロータリー：変化をもたらす」のIR会長のテーマの下、任期の1年間で全うさせていただきました。この間、山梨第2分区の会長・幹事及び会員の皆様には、多くのご指導やご協力を賜り、誠に有り難うございました。お蔭をもちまして、地区目標につきましても完全とまでは行きませんが、大方は達成出来たと認識しており、心から御礼申し上げます。

本年度は、様々な議論を経て分区再編が行われ、この山梨第2分区としての活動は最後となりました。思いも複雑です

が、次年度は山梨第2グループ及び第3グループに分かれて活動します。また新たな出会いがあると思いますので、楽しみにしたいと思います。

IMにつきましては、本年2月10日（土）に2620地区の先陣を切って「ロータリーの結束で地域防災力の向上を！」をテーマに開催いたしました。企業としての地域防災の向上の一助となれば幸いです。

この1年間は、私個人としてもロータリーに対する理解を深めつつ、多くの友人と知り合えるなど本当に貴重な経験を積むことができました。これも偏に松村ガバナー、倉嶋幹事及び副幹事の皆さん、ガバナー事務所のスタッフの皆さんのお蔭と心から御礼を申し上げ、挨拶といたします。



山梨第3分区ガバナー補佐

齋藤 嗣樹 (韮崎RC)

5月27日（日）2620地区最後のIMを開催し、やっと1年が終わったと実感しています。前半の半年は分区の再編成、補佐訪問、ガバナー公式訪問、地区大会と続き、後半の半年間は補佐訪問、各クラブの周年記念、山梨の各分区のIM、最後に第3分区のIMととても充実した、楽しい1年間を過ごさせて頂きました。特に、第3分区最後の補佐として各クラブを訪問し、会員数も減少するなか、工夫を凝らしたロータリー活動で地域に貢献されている会員の皆さん

と、交流出来たことがとてもいい思い出です。別々のグループとなるクラブもあり残念ですが、これからも楽しいお付き合いをお願いいたします。

第3分区のIMでは会員交流をメインテーマに開催いたしました。6クラブの80%の会員が式典から懇親会まで参加され、ジャズバンドの演奏を聴きながら懇親を深め、最後まで盛り上げて頂き感謝しています。

最後になりますが、地区の運営を頑張られた松村ガバナー、地区役員、事務局の皆さん、各分区ガバナー補佐、第3分区の会長・幹事・会員の皆さん、私を支えてくれた韮崎クラブの皆さんに感謝申し上げ、1年間を無事に終えた報告とさせていただきます。本当に有り難うございました。



山梨第4分区ガバナー補佐

渡辺 康一郎 (大月RC)

2017年

7月3日～14日：区内クラブ訪問 挨拶
と地区目標、分区再編について説明

8月5日：山梨県下分区合同会長幹事会開催 議題 次期ガバナー補佐選出方法について

8月28日～9月13日：ガバナー公式訪問に随行

9月8日：会長幹事会開催 議題 地区世界ポリオデープロジェクトについて

10月23日：ガバナー補佐杯ゴルフコンペ 台風接近により中止

12月12日：会長幹事会開催 各クラブ状況報告

2018年

1月15日～26日：区内クラブ訪問 地区目標達成へのお願い
2月5日：第4分区会長幹事会として甲府RC例会へメイクアップ
前段で甲府RCの役員の皆さんと懇談会を開催3月31日：甲府RC・第4分区(現・次期)合同会長幹事会開催
議題 山梨第1グループ運営規約制定について4月2日～13日：区内クラブ訪問 山梨第1グループ運営規約
制定の説明とIMの案内

5月19日：インターシティー・ミーティング開催

6月12日：会長幹事会開催 各クラブ状況報告

以上、報告いたします。一年間ありがとうございました。山梨第4分区では期首会員数191名から年度末会員予測数208名と17名の増加となり、全てのクラブで増加という結果となりました。各クラブの会員増強の取り組みに感謝いたします。



静岡第1分区ガバナー補佐

河津 市元 (下田RC)

ガバナー補佐として村松ガバナー地区
役員の皆様に支えていただき、一年間
終わってみれば早いものでした。そ

の中で特記するとすれば分区再編の波をともに被ったことです。静岡第一分区と第二分区の合併再編ですが、当初地区より示された編成案には第一分区、第二分区共に反対の狼煙

をあげました。数合わせの再編案に反対し私どもの意見を取り入れていただき変更案に安堵しましたが、次のガバナー補佐選出方法や担当クラブの順番など何回かの会長幹事会を開き、方法を議論の末現在は形ができて落ち着いており安堵しております。

次年度より新たな第一グループとして活動していくわけですが、この事について時間を掛け議論しただけに、新たな形がよりクラブ会員に魅力的な存在となり、地区運営が合理的になることを切に望んでおります。有難うございました。



静岡第2分区ガバナー補佐

土屋 龍太郎 (伊豆中央RC)

キーワードは変化、変えていくものと
変えてはならないものの見極めとい
う次第で、分区の再編準備を担当致し

ました。

分区或はグループの意義、ガバナー補佐の役割や選出方法、IMの在り方等に関する議論の過程で、当事者である会長・幹事の皆様に「今がチャンス。今しかない。クラブに持ち帰り、しっかり議論してほしい。」と呼びかけました。

運営規約制定にあたり、補佐の役割として「グループを代表して地区・地域との連携を図る(地域を代表するロータリアン)。各クラブの共同事業を取り纏める。(行動が可)」を明記し、補佐選出の特例として「補佐候補を明示した文書を会に提出ことで立候補を可とする。」条項を設けました。

第2分区最後のIMでは、「三島・田方・賀茂の9クラブの第1グループと、富士・沼津・駿東の12クラブの第2グループの接続点に位置する米山記念館を、大切に守り続けることで、私達の連携を維持していこう。」と提案いたしました。

分区再編が、クラブの活性化に繋がることを、祈念しております。ありがとうございました。



静岡第3分区ガバナー補佐

太田 昭二 (沼津柿田川RC)

2016年10月1日の次期ガバナー補佐
ミーティングから開始して1年9ヶ月。
たくさんの事を学んだ事は貴重な

体験でした。期首・期末及びガバナー公式訪問で各クラブの状況を把握し、会員との交流・親睦を図りました。また、松村ガバナーの重点目標のエンドポリオの催しにも参加し、募金活動での皆様の大声の呼びかけが公共イメージの向上に確実に役立ちました。IMでは米山奨学生に対しての理解を深

めてもらいました。

年初に「楽しくなければロータリーではない」つまり、ロータリーは楽しくやりましょうを掲げましたが、楽しめたでしょうか。楽しむのも楽しまないのも心掛け次第で、その熱い気持ちを忘れずに励んでいただきたいと心から願っております。

松村ガバナーをはじめ、事務所スタッフや他地区のガバナー補佐の皆様、そして静岡第3分区9クラブの会長幹事と会員各位と同じ時期に活動出来ましたことに幸せと喜びを感じております。

ありがとうございました。



静岡第4分区ガバナー補佐

坂本 泰俊 (駿河RC)

静岡第4分区の皆様、一年間大変お世話になりました。分区制度の中で最後のガバナー補佐として大過なく努めることが出来たことは、ひとえに皆様のご理解とご協力とさらにロータリアンとしての友情の賜と感謝申し上げます。

ふり返りますと2016年10月1日に次期ガバナー補佐の初顔合わせが行われ、松村ガバナーエレクトから、ガバナー方針と地区目標の説明がなされ、分区内事業とガバナー公式訪問と補佐訪問の調整に入りました。その後、2017年6月までに3回の次期ガバナー補佐会議が開催され、地区目標であるポリオエンドキャンペーンの内容とスケジュール確認がなされました。分区再編については8月末までに次期ガバナー補佐を決めて2018年星野年度よりグループ制としてスタートしたいとの意向が伝えられ5回にわたる会長幹事会で次期ガバナー補佐の選任

と輪番について話し合われました。その結果9月19日開催の第4回会長幹事会において補佐の輪番はクラブ設立順とすることが満場一致で決定し安堵しました。

分区内のクラブにはガバナー公式訪問と合わせて4回訪問させていただき、6回の会長幹事会を開催し、松村ガバナーのメイン行事でもある地区大会と、わたしに課せられた一大イベントのIMも皆様のご協力により無事に円成することが出来ました。

クラブ訪問ではどのクラブも独自のスピリットがありロータリアンとしてのプライドを感じました。例会はシステム化した心地よい流れの中で会長幹事を中心として作り上げていく感動を得ました。各委員会も委員長を中心に責任ある運営と特色ある事業展開により地区目標の達成に取り組まれていました。

全てのクラブにおいて皆様の温かい心遣いとホスピタリティーを感じ、同行の事務局員と共にこれがロータリーの精神だと感銘を受けました。

次年度より静岡市全12クラブが第3グループとしてスタートします。多くの会員が一丸となっていっそう好意と友情を深め共にロータリーライフを楽しみましょう。



静岡第5分区ガバナー補佐

福島 吉衛 (島田RC)

松村年度がスタートと同時に静岡第5分区ガバナー補佐として皆様にお世話になり、大変有意義な一年を過ごすことができました。今年はロータリーの歴史においても分区再編という大きな変革の年であり、分区内外を問わず、会員の皆様、特に会長・幹事の方々には大変なご苦勞をおかけし

ました。しかし、常に変化し続ける世の中であって、我がロータリーも将来に向かっての必要な変化ととらえるべきだと思います。

来年度からは新たなグループとしてスタートすることになりますが、新しいことへの挑戦を恐れず、これからも皆様の友情と共にロータリー活動をおくれる事を祈念します。一年間、松村ガバナー及びスタッフの皆様と共に素晴らしい経験をさせて頂き、微力ではありますが、職務を全うできましたことを心より御礼申し上げます。



静岡第6分区ガバナー補佐

平野 春治 (掛川グリーンRC)

本年度「ロータリー：変化をもたらす」のテーマのもとスタートした1年はアツと言う間に過ぎた感じです。

テーマに基づき「外の変化」「内の変化」について各クラブにお願い、お話をさせて頂きましたが、本年は何と言っても分

区の編成が大きな変化だったと思われます。

当静岡第6分区は浜松市内3クラブ、中東遠4クラブとグループ編成では別々となるのですが、基本的に経済圏は同じと思っているなかで、各会員の前向きかつ進歩的な考えを期待し、各グループ内での協調、発展を心から祈念致します。

分区の会長、幹事様をはじめ各役員、会員の皆様方には1年間本当に温かく手を差し伸べて頂き誠にありがとうございました。

ロータリーアンである事の喜びを感じた1年でもありました。



静岡第7分区ガバナー補佐

佐原 功一郎 (浜名湖RC)

「丁寧な合意形成と情報の共有」

本年度第7分区会長幹事会の主要なテーマは、分区再編と青少年交換事業、及びエンドポリオ街頭募金共催事業でした。分区の再編は地区の大きな変革事業でしたが、計3回の合同会長幹事会を通して運営規定等についての協議を行い大きな争点もなく合意することができました。各会長幹事の大所高所からの判断と「再編ではなく新編成」という認識で一致出来たからだと思っています。

ポリオ街頭募金共催事業は浜松クラブのリーダーシップの

下で分区+1の広がり大きな成果を挙げる事ができました。また青少年交換事業は受入れの問題で若干の協議調整が必要でしたが、各会長幹事互いのご理解とご尽力で無事遂行することが出来ました。分区活動は丁寧な合意形成と情報の共有が肝要かと改めて感じた次第です。

IMは、「多文化共生」を今そこにある地域の課題として取り上げ、多くの会員と外国人を含めた地域の人たちに問題提起出来たのではないかと考えております。また懇親会では第7分区の来し方を顧みてこれからを思いながら、楽しく懇親を深める事が出来ました。主管した浜名湖クラブの一人一人がIMリーダーズになって率先協力し、そして分区内会員の皆様の温かなご理解ご協力を頂いて意義ある楽しいIMにさせて頂く事ができました。一年にわたるご厚情に心より感謝申し上げます。

委員長・小委員会委員長退任の挨拶

地区危機管理委員会 委員長 平嶋 育造 (甲府RC)



ご挨拶の機会をいただきありがとうございます。危機管理委員会は、当年度、大過なく任務を全ういたしました。個人的には、3年間連続して地区委員長を務めさせていただいたので、ようやく肩の荷を下せた感があります。

さて、機会あるごとに、危機管理委員会が何をやっている委員会なのかを紹介させていただいているのですが、終了に当たっても若干書かせてください。

当地区の危機管理委員会規則によれば、構成メンバーは「①DGが指名するDG補佐またはPDG②DGE③DGN④地区青少年活動委員長⑤DYE委員長⑥DLAC委員長⑦DIAC委員長⑧地区米山奨学委員長⑨地区ロータリー財団委員長⑩地区広報委員長⑪DGが指名する地区研修委員または危機管理委員経験者⑫DGが委嘱するロータリアン以外の外部有識者2名以上⑬前各号の者に医師及び弁護士各1名以上を含まないときはロータリアンからこれらの者各1名以上を委員としてガバナーが委嘱する⑭委員には女性1名以上を含むものとする。」とされています。

これらのメンバーが常駐ではなく、委員会を招集して開催され、その時々の問題を議論することになります。「危機の防止・解決のために必要な提言や指導・助言を行うほか、危機事案が対処事案であるかどうか判断の上適切な対処のための方策を講ずることを任務と」しています。

ですから、対処すべき危機事案が全くないことが、地区の安心であり、当委員会の願いです。

RIの青少年交換事業認証には、危機管理委員会が設置されていること（必須）の他にも厳しい対応が求められています。

交換学生に対する一定程度の要件を備えた保険への加入を義務づけたり、地区青少年交換事業に関わる方々に対する危機管理に関する研修を実施すること、ボランティア誓約書の提出とその永久保管など、とりわけ未成年者である交換学生に対しては、日本での常識を越えた強い保護を求めています。

上述の保険は「戦争などの地域的戦闘などに巻き込まれた場合」「大地震など天災に見舞われた場合」さえも保険の対象であることが求められていましたが、日本の多くの保険条項では、上記の2項目は免責事項（保険の対象にはならない）とされていますから、RIの要求を満たさないことになってしまいます。そこで、特定非営利活動法人国際ロータリー日本青少年交換委員会(RIJYEC)において、日本において可能である保険内容で代替できるようRIと協議をしたと聞いています。

また、犯罪者ではないことの証明も、これを証明する機関はないので「ボランティア誓約書」になったことは当年度のガバナー通信に記載しました。

危機管理委員会は、非常駐の委員で構成される非常時に招集される委員会です。研修を事業とする委員会であるとの位置づけではありません。危機管理委員会メンバーもRIJYECで行う研修に参加して知識習得に務め、青少年交換事業を行うみなさまに還元してともに向上すべきことを認識しています。

ただ、危機管理委員会専属の委員は、委員長と副委員長の2名であり、その他の委員は、地区の他委員会に属する兼任のメンバーでした。行き届かないことも多く、ご迷惑をおかけいたしました。が、1年間ご協力いただき、ありがとうございました。

会員増強・維持委員会 委員長 高杉 光洋 (藤枝南RC)



国際ロータリー 2620地区各クラブの皆様には1年間大変お世話になり、心より感謝申し上げます。会員増強・維持委員長を仰せつかり、どうしたら増強・維持を皆様にお伝え出来るのかとずいぶん考えさせられました。各クラブには歴史伝統がありそこには個性というものもあります。さらに言えば各クラブには「しきたり」的なものも存在するのでは、

私的には「しきたり」好きな言葉です。ガバナー月信を通して「明るいクラブ造り」又「個性のあるクラブ造り」をおすすめしてきたつもりです。ロータリークラブも変化の激しい時代になってゆくと想像します。変化に対応する能力も必要ですが・・・

先輩ロータリアンから教えられた言葉、「結論は（真面目に変わらず努力する）それだけで充分良い結果は出てくる。」各クラブの益々のご発展、メンバー各位のご健勝ご多幸をご祈念申し上げお礼のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

公共イメージ向上委員会 委員長 野木 秀明 (静岡西RC)



本年度（2017-2018年）は 第2620地区も広報・IT推進委員会から公共イメージ向上委員会に委員会名が変わり 委員会の役割も大きく変化する重要な年度に委員長と言う大役を拝命し緊張の連続でありましたが 松村友吉ガバナーが地区重点目標として掲げた「ロータリー公共イメージ向上とEND POLIOへの支援」により 明確な方向性を頂いたことで迷うことなく委員会活動に励むことができました。また 地区内全79クラブの皆様には「撲滅まで『あと少し』@世界ポリオデー」に参加頂きキャンペーンを盛り上げて頂きましたこと 心より御礼申し上げます。撲滅までEND POLIO活動はまだまだ続きますが1人のロータリアンとして活動に励んで参ります。1年間ありがとうございました。

職業奉仕委員会

委員長 石垣 善康 (藤枝RC)



2018年1月27日地区職業奉仕セミナーを開催、盛会裡に終了出来ました。

セミナーを開催した担当委員長として思ったのは、正に<ロータリーの友情>でした。

体調不良をおして講師を務めていただいた、RI研修リーダー本田博己様。事前に何回もアドバイスを頂き、講師まで務めていただいたRI2620地区P G志田洪嗣様。

そして、1月の寒さの中、静岡駅一市街頭に案内板を持って会場案内や会場整理を行ってくれた藤枝ロータリークラブの会員の皆様。セミナー進行にご尽力頂いた地区職業奉仕委員の皆様。全ての人に感謝申し上げます。

社会奉仕委員会

委員長 青島 直久 (焼津RC)



多くのクラブで実践されている「清掃」をテーマに2017年8月27日(日)に開催いたしました地区社会奉仕セミナーに、夏の暑い中を各クラブの会長、社会奉仕委員長はじめ、多くの会員の皆様にご参加をいただき、無事終了することができました。

セミナーの第一部でご講演をいただきました荒川祐二先生、第二部で活動報告をしていただきました沼津柿田川RC様、市川大門RC様にはロータリーの友情に心から感謝を申し上げます。

セミナーを開催するに当たり、ご指導をいただきました研修アドバイザー岡本一八様をはじめ地区委員の皆様、当委員会梶原副委員長、村松委員をはじめお世話になりましたすべての皆様に感謝申し上げます。

国際奉仕委員会

委員長 多治見 則之 (島田RC)



まず各クラブ国際奉仕委員会の皆様のご協力に感謝申し上げます。

前年度の委員会の活動を継続し、各クラブの情報共有し、各クラブに有意義な情報提供、支援が行える下地作りを行おうとすすめてきましたが、アンケート調査・分析・まとめ迄で終了してしまいました。

各クラブ 様々な活動(内容・目的・対象等)を行っている事が確認できたのですが、あまりにも内容が広く、それを一つのフォーマットにまとめることができませんでした。

今回の経験を糧に、今回できたネットワークを活用し、国際奉仕活動に積極的に関わっていききたいと思います。

国際奉仕活動 「できる事から はじめよう」

ロータリー財団委員会

委員長 曾根 真人 (富士山吉原RC)



ロータリー財団委員長としての2年目も無事終わりました。この年度の財団寄付総額は昨年度には及びませんでしたが、特筆すべき点として昨年度に引き続き全てのクラブが年次基金へ寄付されたこと、各クラブがポリオプラス・キャンペーンを実施していただき、ポリオプラス基金へ昨年度より約250万円も多く寄付が集まったことです。地区補助金プロジェクトは64クラブが実施され、地区全体の活性化が伺えます。また、グローバル補助金プロジェクトも漸くクラブに浸透し参加クラブが増えたことは喜ばしいことです。次年度も引き続きご協力を宜しくお願いいたします。

補助金小委員会

委員長 原田喜代美 (静岡南RC)



この5月に地区財団事務所で第2ゾーンのロータリー財団地域コーディネーターの舟木いさ子様のお話しをお聞きする機会があり、その中で当地区として誇っても良い事がありました。DDF(地区財団活動資金)の件で、それは国際的にも指摘されているそうですが、日本の地区補助金・グローバル補助金の活用がされず、その資金が毎年繰り越され、日本の繰越額は8億円を超えているようです。

当地区は、未来の夢計画が始まった6年前の当初から、ガバナー、地区財団委員長の肝いりで始めた実績が根となり、今年度もクラブ主導の新しいグローバル補助金プロジェクトが複数申請を開始しており、優等生の域であると私は感じております。

皆様と一緒に活動させて頂いた事にお礼を申し上げたいと思います。

ポリオプラス小委員会

委員長 大久保 恵 (甲斐RC)



日頃はポリオプラス事業に格別なご理解ご協力を頂き熱く感謝申し上げます。ポリオ撲滅は長年にわたりロータリー会員が力を注いでいる活動で、世界の発症数は99.9%減っていますが、まだ撲滅されていません。

当地区では松村ガバナーの「ロータリー公共イメージの向上とENDPOLIOへの支援」の目標の下、各クラブ毎にENDPOLIOキャンペーンを実施、70件以上の活動で総額400万の寄付を集めて頂きました。また10月24日「世界ポリオデー」に静岡・山梨の新聞に公告を掲載しロータリー活動のPRも行いました。

ポリオ撲滅まであと少しです。これからも皆様のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

学友委員会/財団学友小委員会

委員長 高原 敏廣 (三島RC)



2017年2月25日の地区チーム研修セミナー前に、松村ガバナー、寺戸米山記念奨学委員長、藤巻青少年交換学友会委員長と私、高原財団学友会小委員長が顔を合わせ、松村年度発足予定の学友委員会の運営についての話し合いを開きました。松村年度が初めての組織であるため、右も左もわからず兎に角3学友会の顔合わせを当面の目的ととらえ計画し、実行しました。

先ず財団学友会の総会が7月8日に開催され、総会の前に学友と共に米山記念館を訪れ、米山記念館全体の説明を木内米山記念館委員から受けた後、2階の米山梅吉翁についての展示物の説明を受けました。



米山記念館木内委員よりの説明



展示物の説明

その後、総会開催のために三島佐野美術館の会議室に移動し、総会開始前の短い時間に渡邊妙子館長の日本刀のレクチャーをうけ、総会を開催しました。この総会には青少年交換学友会の藤巻委員長と武内委員も参加くださいました。

総会後の懇親会では和気あいあいと酒をかわし、楽しいひと時を過ごしました。

その時の感想ですが、これだけ多種多様な能力を持った人たちを放っておくのはロータリーにとって大変な損失だとの思い、Eクラブでもよいので学友のRCを作ったらどうだろうと考えました。

佐野美術館渡邊館長より
日本刀の解説④

財団学友会総会②



懇親会①



記念撮影

順序は前後しましたが、2017年6月17、18日に御殿場国立中央青少年交流の家で開かれた青少年交換委員会主催の研修と総会に参加してきました。これには生子ガバナーはじめ松村ガバナーエレクトも参加下さり、交換奨学生の経験談を熱心にお聞きになっていました。



青少年交換総会 帰国報告会



総会終了後の記念撮影 真ん中が松村ガバナー

米山記念奨学委員会のカウンセラー説明会が2017年10月15日に米山記念館にて開催され、寺戸米山記念奨学委員長、藤巻青少年交換学友委員長と共に参加しました。

2017年11月11、12日には日本ロータリー学友会（財団学友会の全国組織）が神戸で開催され、中樞財団学友会代表幹事、土橋幹事、植松幹事と共に参加しました。各学友会の活動や問題点などを話し合い、地区により学友会に対する考え方の違い等勉強になることがたくさんありました。



認定 NPO 法人代表理事 /
医師 大類君のスピーチ



代表幹事挨拶
(高木東京海洋大学教授)

財団学友委員会、学友委員会、クラブ会長を務めましたが、能力のない私には少々荷が重かった気がしており、多々至らなかった点がありましたが、お許し願えれば幸いです。各学友会の委員長はじめ委員には大変お世話になりました。

青少年奉仕委員会

委員長 谷本宏太郎（静岡RC）



インターアクト、ローターアクト、青少年交換、青少年交換学友、の4つの小委員会を持ち、ロータリー年度開始以前の4月から活動が始まり、交換学生が帰国する次年度の初めまでの大変長期間にわたって次から次へと事業が続くロータリー活動の中で最も充実した委員会です。そのため、地区から多大な予算を頂いて将来のロータリアンを育てるために多くのロータリアンやインターアクトを持つ学校やローターアクトが通う学校や会社の多大な協力の下に活動が行われています。私が特に印象に残った事に絞って報告しますので、詳しくはそれぞれの委員長からの報告をご参照ください。

今年度は久々に長年の夢だった浜松ローターアクトクラブが復活を遂げる事ができました。インターアクト年次大会はホストの山梨英和中・高等学校さんのおかげで高原リゾートの清里清泉寮で開催でき、名物のソフトクリームは生徒に大変好評でした。

青少年交換では7人づつという例年より多い生徒を交換し、数度の国内旅行とオリエンテーションを一人の脱落者も無く無事に事業を終えることができました。今後は彼らがさらに交流を深め、世界平和に貢献してもらえることを期待しています。

現在インターアクトクラブは18校で提唱クラブは16クラブのみで、ローターアクトは山梨県一つ、静岡県中部に3つ、西部一つ、東部には無いという状態です。青少年交換事業に関わっているクラブも限られております。

青少年奉仕活動に皆さんがもっと係れるように、クラブ単位ではなくグループ単位で青少年奉仕事業に関われるような体制ができれば良いと思います。青少年奉仕活動を知ってもらえるよう努力しますので、皆様のご協力ご援助をお願いいたします。

インターアクト小委員会

委員長 増田 孝枝（焼津南RC）



委員会活動は2017年4月「国際ロータリー第2620地区インターアクトクラブ年間2017～2018年版」の作成を始めました。本年度より冊子の作成をやめ地区ホームページにタグをつけウェブ上に掲載することにしました。6月初旬にはインターアクト提唱クラブ担当者・顧問先生連絡会議を開きホームページにアップする内容の確認、本年度事業計画の確認を行い本格的な活動が始まりました。7月30日・31日に第44回インターアクト年次大会が山梨英和中学校・高等学校のホストで山梨県八ヶ岳清泉寮、山梨県立八ヶ岳青少年自然の家で開催されました。地区インターアクト17クラブのうち15クラブが参加、1日目140名、2日目100名を越す参加者があり、たいへん盛大に行われました。今年の年次大会のテーマは「国際協

力の現状と課題」と言う事で基調講演はJ A I C A横浜の中野貴之氏による「国際協力とは」と言う演題でご講演いただきました。自身の体験談をまじえながらの世界の現状についてのお話は、たいへん興味深いお話でインターアクトたちの世界観を変えるにはとても良い機会になったことと思います。夜には地元の海外青年協力隊の帰国隊員による帰国報告会が行われました。その中で自由な質問タイムにはいろいろな質問が飛び交い良い刺激を受けたことと思います。翌日は清里高原を散策し仲間同士良い思い出作りができたことと思います。ご協力いただいた甲府シティーRCの皆さんありがとうございました。

また8月19日・20日にR I D2550地区のホストにより栃木県宇都宮市において第6回全国インターアクト研究会ならびに第4回インターアクト委員長会議・第1回全国インターアクトクラブ会長・幹事・顧問会議が開かれました。テーマは「未来へのリーダーシップ かがやけインターアクト」と言う事で今年から全国よりインターアクトが参加しロータリアンの会議、学生及び顧問先生の会議を開催、国際理解・ロータリアンと共に何ができるかを話し合い他地区との情報交換や交流を深め、今後の活動に大きな成果をあげたことと思います。委員長会議では海外研修について報告がなされ当地区では行われなくなった研修が他地区では盛んに行われていることを知りました。

10月29日には季節はずれの台風が静岡県に接近するなか、本年度当番校の藤枝順心高等学校において指導者講習会が開催されました。台風の接近もあり当日学校の許可がでず、やむなく出席を取り消したクラブもありましたが18クラブ中13クラブに出席していただき予定を早めながら進めました。指導者講習会は次年度のリーダーを育成するために2年生・1年生を対象に行われます。基調講演にはNPO法人藤枝光文庫、理事長石上利之氏による「視覚障害における読書環境」についてお話頂きました。また青少年交換委員会より帰国学生（山梨RCよりフランス派遣）吉村春香さんによる帰国報告、またローターアクト地区代氣田絵里子様、富永様が参加しローターアクト実践報告をして頂きました。ご協力いただきました藤枝RCの皆様ありがとうございました。

インターアクトクラブのプログラムは1962年に始まり現在も常設プログラムであります。特に日本ではこれから超高齢化社会を迎えようとしています、青少年に関するプログラムはインターアクトに限らずたいへん重要なプログラムであると考えます。

今後も皆様のご理解とご協力をお願いします。

ローターアクト小委員会

委員長 田島 和子（清水中央RC）



今年度の地区ローターアクトクラブは氣田絵里子地区代表が努めました。例年以上にきめ細やかな事業展開とおもてなしを学べたように思います。

「ロータリアンは奉仕の精神を、ローターアクトは親睦を楽しむ」とアクトの先輩方に教えていただきました。アクトの活動が「自主独立」を基本に活動することは理解できていましたが、他地区大会、研修などを通じての出会いと活動の機会を与えられ、ロータリー活動への関心も深まり、未来のロータリアンの姿を見ることができました。

また今年度は、ガバナー月信への掲載も数を重ね、ロータリーの皆さんのアクトへの関心も深まったかと思います。ロータリーファミリーとして提唱クラブを増やし、アクトの増強もロータリーの役割と改めて感じました。

まだまだ、ロータリアンの多くは、アクトの活動を知りません。委員会に属さないロータリアンでもアクトの事業には何時でも関心を持ち、参加できるということも重ねて皆さんにお知らせできたのではと思いました。

青少年交換小委員会

委員長 原田 安之（浜松南RC）



「感謝」

青少年交換事業に関わる全ての人々に感謝の気持ちを贈ります。インバウンド学生のサムエル、トゥマス、ラウラ、サラ、ヴァルテル、ジャナ、カイトアウトバウンド学生の太田安紀、大森まどか、埴夏帆、山本りの、熊谷紗奈、齋藤瑠奈、鈴木那歩。ガバナー、アドバイザー、ホストクラブ、ホストファミリー、カウンセラー委員会メンバー、武内陽子事務局員、2600地区若林委員長。すべての人に感謝です。

あるオリエンテーションの朝、みんながまだ寝ているときに、一人廊下で勉強している学生がいました。明日からのテスト勉強との事。忙しいオリエンテーションの最中、自分を見失わず将来の自分のために今を精一杯生きている学生の姿を見て、こんなに素晴らしい若者達を応援できる我々にはありがたいなと思いました。学生たちのこれからの未来をずっと応援します。

米山学友小委員会

委員長 小沼 孝次 (三島RC)



私が担当いたしました米山学友小委員会は委員長一人の委員会で、米山記念奨学委員会に属しております。以前は米山学友会担当といわれていましたが、この呼称の方が実態をよく表していると思われる。この委員会の務めは学友会の見守り隊と考えております。

米山学友会は奨学生が奨学期間を終了しますと入会してきます。ですから、学友会の会員はロータリー活動を理解している素晴らしい方々で構成された組織となり、問題の発生しようがありません。学友会の運営が円滑に行われていることと、学友とロータリーメンバーとのコミュニケーションが良く取られていますと、出番のない部署となります。

今期は米山学友担当として一度だけ「スリランカ医療機器寄贈」事業に参加し、スリランカまで同行し見守り隊の役目を果たして参りました。

青少年交換学友小委員会

委員長 藤巻 素純 (甲府シティRC)



今年は、青少年交換学友会そしてサポート組織である委員会のあり方について考え直させられた一年でした。

生子ガバナー年度の6月に青少年交換学友会の総会を初めて行ったのですが、ロータリアンが主導で会議をし、組織の人選もロータリアンが押し付けてしまいました。結果として、青少年交換学友会が事実上空分解してしまいました。

今年はある意味でマイナスからの出発でした。それを踏まえて一年活動してきました。

青少年交換学友会のメンバーにいかにもロータリーの奉仕活動を理解してもらい、さらに自主的に活動してもらうかが課題です。星野ガバナー年度も引き続き委員長をやらせていただくのでぜひ答えを出していきたいと思っております。

米山梅吉記念館委員会

委員長 外川正知恵 (河川湖RC)



2019年9月14日(土)に日本RCの創始者・米山梅吉翁を偲んで設立された米山梅吉記念館が50周年を迎えます。2620地区をはじめ、全国のロータリアンにこの記念館の存在と認識を深めていただくために、2620地区の地区委員6名、運営委員24名で初の試みとして、来館者に心を込めた対応ができないかと暗中模索の中、行ってまいりました。勉強会を開き、会議を持ち、不十分ではありますが、一年を通じ心のこもったおもてなしをと委員一同努力してまいりました。

記念館は2620地区だけのものではなく、ロータリアン全ての基としていかなくてもなりません。日本のロータリーの歴史がここにあり、一度は全国のロータリアンに訪れていただきたいとの願いを込めて、これからも館の運営のサポートを行っていく所存でございます。2620地区はもちろんのこと、全国に米山梅吉翁の数々の遺徳の発信を行っていききたいと思います。

尚、記念館50周年の式典には、多くのロータリアンにご出席いただきたくご案内申し上げます。米山梅吉翁を偲んでいただき、更なる館の発展のために、一層のご支援よろしく願いいたします。また、平素、米山梅吉記念館に対してのご尽力に感謝申し上げます。

地区大会実行委員会

委員長 大石 訓永 (焼津RC)



松村ガバナーノミニーが決定と同時に、地区研修協議会と地区大会の準備に取り掛かりました。焼津にはすべてのプログラムが一手でできる施設がなく、会場の確保が当面の課題でありました。地区研修協議会は焼津文化会館を中心に、分科会の一部を松風閣に会場移動で対応し、地区大会は一日目の会長幹事会議並びにRI会長代理歓迎晩餐会を焼津グランドホテル。

二日目の本会議は文化会館、懇親会は焼津漁協鮮魚解凍売り場と移動を余儀なくされました。参加いただいた皆様方には大変あたたかいスケジュールになってしまい、懇親会において一部の皆様にご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げます。

多数のご参加をいただき焼津らしい雰囲気の中、にぎやかに盛大に終始することが出来、どうか役目を果たさせていただきました。

ホストクラブ焼津ロータリークラブ、コホストクラブ焼津南ロータリークラブの皆様の献身的なご協力に深甚なる感謝を申し上げます。ありがとうございました。

米山記念奨学委員会「引継会」報告

米山記念奨学委員会 委員長 寺戸 常剛 (静岡RC)



平成30年6月17日(日)2017-2018年度委員会事業報告(引継)を米山梅吉記念館で行いました。

昨年、7月9日の第1回委員会に始まり「指定校訪問」「世話クラブ訪問」「柿田川湧水公園清掃」「奨学生・カウンセラー研修会」「地区大会ホームカミング実施」「面接官オリエンテーション」「新奨学生面接、合否判定会議」「世話クラブ奨学生受け入れ依頼」「奨学生期間終了式」「新奨学生・世話クラブカウンセラー研修会」と多くの委員会事業を実施致しました。

事業費については、奨学生、カウンセラー、委員会メンバーの参加者が多く奨学会の奨学生活動補助費を入れても地区予算をオーバーしてしまいました。2018学年度は継続6名、

新奨学生19名、計25名を受け入れており本年度の予算はかなり厳しくなるといいます、今後25名前後の奨学生を受け入れる場合の地区委員会予算の見直しが必要になると思います。

ロータリー米山記念奨学事業の使命は留学生の優れた学業の達成を支援し、世話クラブ、カウンセラーとの交流を通じ、ロータリー精神を学び国際理解を深め日本と母国の架け橋になり国際親善に尽くす人材を育てることにあります。

当地区79クラブの皆様には、米山記念奨学事業を理解して頂き「寄付増進」への積極的なご協力と世話クラブへのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

新会員紹介

①入会日 ②職業分類 ③趣味

**鈴木 智弘**山梨第1分区
甲府シティRC

- ①2018年5月23日
- ②自動車サービス業
- ③溪流釣り・仕事

**三浦 顯承**山梨第2分区
甲府南RC

- ①2018年5月15日
- ②仏教
- ③ガーデニング

**早川 弘之**静岡第1分区
伊東RC

- ①2017年7月25日
- ②バス事業
- ③アクアリウム

**中嶋 正二郎**静岡第1分区
伊東RC

- ①2018年3月6日
- ②ホテル・リゾート
- ③映画鑑賞

**大野 浩典**静岡第1分区
下田RC

- ①2018年4月3日
- ②建設業
- ③読書、ドライブ

**小野 憲**静岡第2分区
伊豆中央RC

- ①2018年4月10日
- ②外科医
- ③ラグビー観戦

**萩原 仁**静岡第3分区
沼津北RC

- ①2018年4月3日
- ②旅行業
- ③ゴルフ・読書

**藤井 利宜**静岡第3分区
沼津北RC

- ①2018年5月8日
- ②損害保険業
- ③温泉巡り・歴史

**大嶽 健太郎**静岡第3分区
沼津北RC

- ①2018年5月8日
- ②飲食業
- ③ウインドサーフィン

**村上 道孝**静岡第3分区
富士宮西RC

- ①2018年5月10日
- ②介護レンタル・介護
リフォーム
- ③仏像彫刻

**島本 範生**静岡第3分区
富士山吉原RC

- ①2018年5月10日
- ②空調設備機器販売
- ③旅行・水泳

**遠藤 夏美**静岡第3分区
富士山吉原RC

- ①2018年5月10日
- ②一般土木建築
- ③読書・ゴルフ

**加藤 卓正**静岡第3分区
富士山吉原RC

- ①2018年5月10日
- ②貯蓄銀行
- ③スポーツ観戦・読書

**室伏 和徳**静岡第3分区
富士山吉原RC

- ①2018年5月10日
- ②不動産仲介業
- ③温泉巡り

**大川 純治**静岡第5分区
静岡RC

- ①2018年5月21日
- ②生命保険
- ③車、アウトドア

**小山 信**静岡第5分区
静岡RC

- ①2018年5月21日
- ②証券業
- ③ゴルフ、釣り

**羽田 真人**静岡第5分区
静岡RC

- ①2018年6月11日
- ②損害保険
- ③ゴルフ、温泉巡り

**飯村 正紀**静岡第5分区
静岡RC

- ①2018年6月25日
- ②損害保険
- ③読書、ゴルフ、
サイクリング

**深見 典弘**静岡第5分区
静岡西RC

- ①2018年6月6日
- ②電気事業
- ③ウォーキング、音楽
鑑賞、サッカー観戦

**中田 喜雅**静岡第5分区
静岡北RC

- ①2018年3月27日
- ②住宅リフォーム
- ③スポーツ観戦

**戸塚 弘幸**静岡第5分区
島田RC

- ①2018年5月24日
- ②証券業
- ③プロ野球観戦

**佐野 博己**静岡第5分区
藤枝南RC

- ①2018年6月11日
- ②建築資材
- ③

**鈴木 鉄雄**静岡第6分区
掛川グリーンRC

- ①2018年5月10日
- ②建築業
- ③彫刻（仏像・彫り物
など）鑑賞

**森本 卓**静岡第2620分区
浜松RC

- ①2018年5月8日
- ②火災保険
- ③ゴルフ

新会員紹介

①入会日 ②職業分類 ③趣味

**喜多 幸夫**静岡第2620分区
浜松RC

- ①2018年5月8日
- ②生命保険
- ③ゴルフ

**塩田 信行**静岡第2620分区
浜松RC

- ①2018年5月29日
- ②生命保険
- ③ハンドボール
Jリーグ観戦

**望月 善人**静岡第3分区
沼津北RC

- ①2018年5月29日
- ②旅行業
- ③英会話

**朝日 伸明**静岡第3分区
沼津北RC

- ①2018年5月29日
- ②金融業
- ③読書 スポーツ観戦

**森田 邦裕**静岡第3分区
沼津北RC

- ①2018年6月12日
- ②輸入車販売
- ③ゴルフ 旅行

**飯田 一晴**静岡第4分区
清水RC

- ①2018年5月15日
- ②商工会議所
- ③ゴルフ 読書

**石川 隆弘**静岡第4分区
清水北RC

- ①2018年6月18日
- ②経営コンサルタント
- ③マラソン

**早川 正久**静岡第4分区
静岡東RC

- ①2018年6月14日
- ②損害保険
- ③読書・スポーツ観戦

**菊池 茂夫**静岡第4分区
静岡東RC

- ①2018年6月14日
- ②都市銀行
- ③ゴルフ

**片山 義生**静岡第5分区
静岡RC

- ①2018年6月25日
- ②通信事業
- ③サイクリング、
山歩き

**吐前 敏孝**静岡第5分区
静岡北RC

- ①2018年6月19日
- ②情報機器販売
- ③書道、音楽鑑賞、
山歩き

**田中 吉美**静岡第6分区
掛川グリーンRC

- ①2018年7月12日
- ②人材派遣業
- ③旅行、音楽鑑賞

**津田 大資**静岡第6分区
浜松南RC

- ①2018年6月14日
- ②運送用機械器具・部
品製造
- ③ゴルフ

**樋口 明宏**静岡第2620分区
浜松RC

- ①2018年6月5日
- ②自動車配布
- ③サイクリング

**仲野 哲央**静岡第2620分区
浜松RC

- ①20018年6月19日
- ②ガス供給
- ③ランニング

**向山 憲稔**山梨第2分区
甲府南RC

- ①2018年6月5日
- ②不動産賃貸業
- ③バスケットボール

**松村 貴美**山梨第2分区
甲府南RC

- ①2018年6月12日
- ②建設業
- ③旅行



訃報

**天野 節男様**
(享年 68 歳)山中湖RC
平成30年5月30日 ご逝去**高橋 宣光様**
(享年 70 歳)浜松中RC
平成30年6月9日 ご逝去**奥石 政雄様**
(享年 94 歳)菰崎RC
平成30年6月8日 ご逝去

第23回日本青少年交換研究会・千葉会議 (ホスト：第2790地区) 報告

日時：5月12日（土） 11：00～20：00

5月13日（日） 9：00～12：00

場所：千葉幕張メッセ国際会議場

報告者：青少年交換小委員会 委員長 原田安之（浜松南RC）

参加者：ガバナー 松村友吉（焼津RC）

青少年交換小委員会委員長 原田安之（浜松南RC）

青少年学友小委員会委員長 藤巻素純（甲府シティ RC）

青少年交換小委員会委員

リビー ジョーセフ マテュー（パワー浜松RC）

青少年交換小委員会事務局 武内陽子

ROTEX 大須賀史子 鈴木祥太

インバウンド学生 ラウラ、トゥマス、サムエル、サラ、ヴァルテル、カイト、ジャナ



報告

第23回日本青少年交換研究会が千葉幕張の地で開催されました。

この会議は青少年交換の研究会で毎年日本各地の地区が持ち回りで開催しております。

3年前には、当2620地区で開催いたしました。ロータリアンの情報交換はもとより、今年度各地区に派遣されているインバウンド学生も多数集まり、また、過去に派遣したROTEXを交え交流を図りました。

会議詳細

5月12日（土）午前中にはガバナー、GE、GN、GNDを対象にしたセミナーが開催されました。午後からは研究会が開催され多くのメンバーが集いました。

2580地区水野正人PDGの基調講演「青少年交換Pとオリンピック・パラリンピックの夢」に始まり、青少年交換プログラム会議「効果的な学生研修と効率的な委員会運営実現の為に」危機管理委員長会議「日本を取り巻く国際情勢と危機管理」ROTEX会議「ホストファミリー」の3つの分科会が、各テーマのもと行なわれました。



今回、インバウンド学生を対象にエクスカッションが設けられ、成田RC、習志野中央RC、成田IACのもと、成田山新勝寺へピクニックへ出かけました。17：00からは全体懇親会で交流を図りました。

翌13日は、9時より青少年交換委員長会議10時からの本会議（分科会報告）を経て閉会式を行い、最後は手に手つないでの大合唱で閉幕いたしました。

多くのロータリアンと情報交換をし、インバウンド学生も交流を図り有意義な2日間となりました。

多くのロータリアンと情報交換をし、インバウンド学生も交流を図り有意義な2日間となりました。

なお、来年の開催は第2610地区、金沢の地で開催されますことをご報告いたします。



地区幹事・副幹事 退任の挨拶

倉嶋 伸康（地区幹事）



スタッフの皆様ありがとうございました。そしてエレクト事務所、ガバナー事務所と2年に渡り、地区の皆様には大変お世話になりました。

浅原 博（地区筆頭副幹事）



地区チーム研修セミナーから始まり、PETS、地区研修協議会、地区大会と駆け足で走り抜けた1年半でした。2620地区の全てのロータリアンに感謝申し上げます。

岡村 延昌（地区筆頭副幹事）



山梨・静岡両県で、沢山のご縁をいただきありがとうございました。このご縁を大切にしていきたいと思います。

深沢 英雄（地区副幹事）



各クラブの皆様には、貴重な体験と御協力・御厚情を賜り本当に有難うございました。今後も、手に手、輪に輪の末長い友情をよろしくお願い致します。

伊東 良洋（地区副幹事）



様々研修、地区大会等の資料作成チームを担当させていただきました。1年間ありがとうございました。

塩川 彰（地区副幹事）



「心に喜神を含む」ガバナー月信表紙を飾った言葉の通り、喜びと感謝を沢山学ばせて頂きました。ありがとうございました。

村田 昌弘（地区副幹事）



自分は79クラブ中22クラブの例会とIM、周年事業等にも同行させていただきました。温かく歓迎していただいた皆様に心から感謝申し上げます。

金丸 好孝（地区副幹事）



ガバナーの公式訪問等のお供をさせていただき、大変勉強になりました。またおいしいお食事等ありがとうございました。

藤島 祥人（地区副幹事）



RI2620地区各クラブの皆様には大変お世話になり、とても良い勉強をさせていただきました。一年間ありがとうございました。

芳村 正樹（地区副幹事）



一年間ガバナー月信の編集長を担当させていただきました。勉強になった1年でした。ありがとうございました。

一年間本当にありがとうございました！